

当ガイドは、釣行に「必要なもの」から「道具の扱い方とセッティング」、「釣るコツ」を紹介。一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けましょう!!

## ★出掛ける前に必要な小物やルアーを購入

お買い物リスト | 釣行前日までに要準備! 疑問があったら釣具店に!!

### ルアー 3種

下記の3タイプがあると、さまざまな場面で対応できます。表層からボトム(海底)まで探れる万能タイプのジグヘッドとソフトルアーのセット。魚のように泳いで誘うミノと飛距離が出るシンキング(沈む)タイプを用意。遠投が可能なメタルジグを用意しましょう。



ミノー  
飛距離が出るシンキング(沈む)タイプを用意。  
メタルジグ  
テールを振動させて誘うカーリーテールがオススメです。重さ5~11gよりチョイスしましょう。

### その他あると便利グッズ

「フィールドブライヤー」や「サングラス」など、「ゴールドマニュアルブック」の118ページを参考にしよう。



## ★釣るための準備

釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣りを!

### 【スピニングリールの特徴】

ベールアームが回転して糸を巻き取るタイプ。

#### ストッパーレバー

通常はラインを巻き取る方向で固定します。

#### ベールアーム

ここに道糸を通して巻く。キャストする時は開きます。

#### ハンドル

道糸を巻くためのとってです。

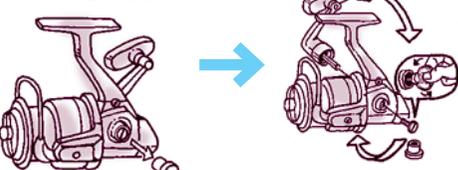
#### ドラッグ

ここを締めることで道糸にブレーキがかかります。また緩めると道糸が出やすくなります。

### ハンドルを交換して使いやすくしよう

スピニングリールはハンドルの左右交換が簡単にできます。ロッド操作は利き手の方が上手いので、右利きの方は、左ハンドルに。左利きの方は、右ハンドルに変えるのがベストです。

①ハンドルの反対に付いているキャップを外します。



②10円玉などの硬貨でネジを回してネジ止めごと抜き、ハンドルも外します。



③ネジとハンドルを入れ替えて差し込み、ネジを締め、キャップを付けて完了です。

### 【釣具のセッティング】

#### 1~3の順でセットしよう

作業はロッドをつなぎ、ライン(道糸)をガイドに通し、ルアーと結ぶだけです。

なお、穂先(先端部)はデリケートなので、やさしく扱きましょう!

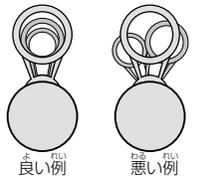


## 1 ロッドを組み立てる



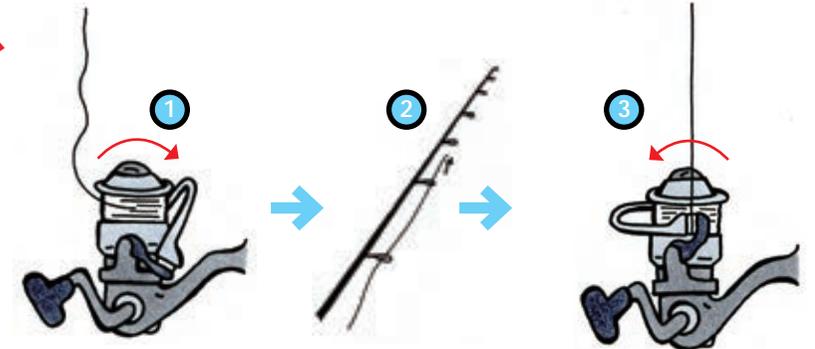
穂先から順に継いでいきます。継ぎ目の根元を持ち、ジョイント部を合わせ、軽くねじ込むように押し込みます。ラインを通すガイドを一直線にすることも忘れずに!

良い例・悪い例



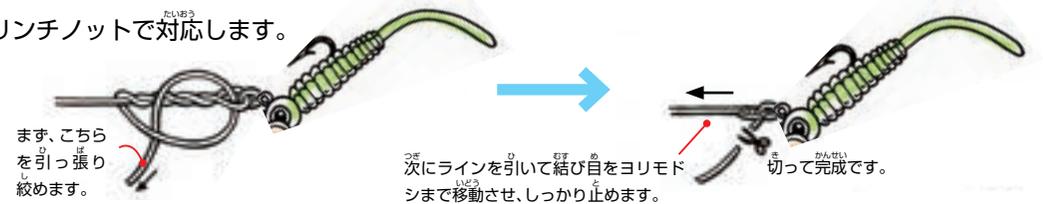
## 2 ベールアームを起こし、ラインをガイドに通す

①スピニングリールは、リールのベールアームを起こし、②リールに近い順からガイドに順序良く通します。③先端のガイドまでラインを通しきったら、ゆとりを持たせてベールアームを戻します。



## 3 ラインの先端をルアーに結んで完了

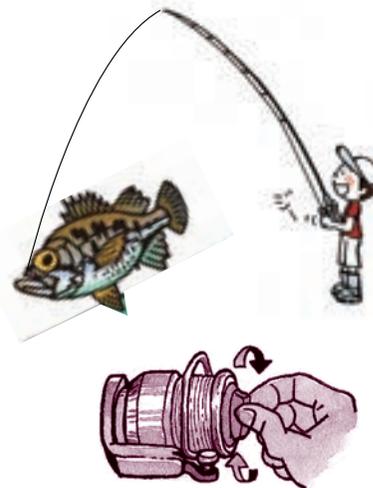
※どちらも下記クリンチノットで対応します。



まず、こちらを引っ張り絞めます。

次にラインを引いて結び目をヨリモドシまで移動させ、しっかり止めます。

### ドラッグ調整も行おう



リールの一番上のつまみを回して圧を調整します。ファイト中、魚の引きにハリスや道糸が耐えきれず負ける(切れる)寸前に、ラインが出るようにセットするのが理想的です。詳しくは、ゴールドマニュアルブック133ページをチェック!

### ジグヘッドにソフトルアーをつける



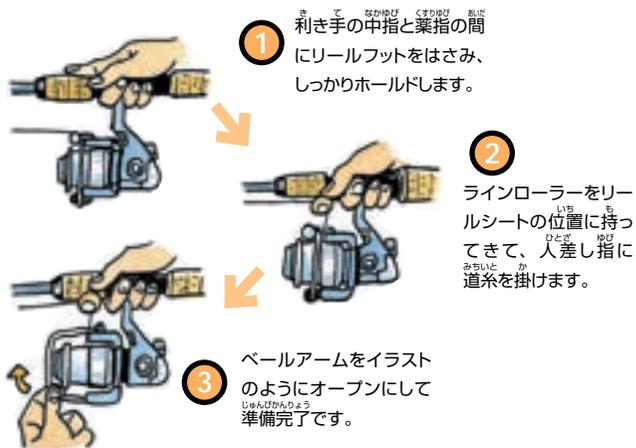
①ソフトルアーの頭側の中心にフック(ハリ)を差し込みます。



②軸の曲がりに合わせて、ルアーを差し込んで、曲がりきった場所でフックの先端を抜き出して完了です。

# キャストタイミング

キャストに入る前は、ロッドをしっかりと握って備えましょう。



①

利き手の中指と薬指の間にリールフットをはさみ、しっかりホールします。

②

ラインローラーをリールシートに持って来て、人差し指に道糸を掛けます。

③

ベールアームをイラストのようにオープンにして準備完了です。

## ①アドレス

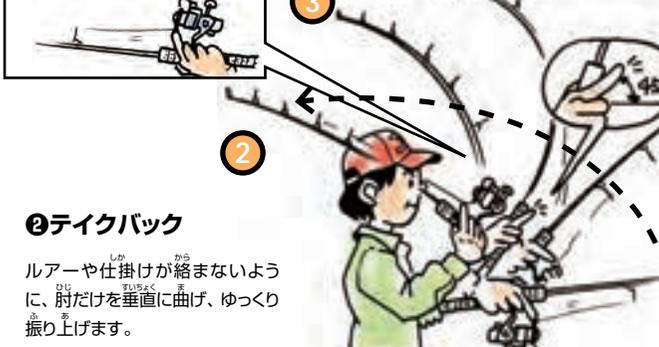
脇を締めて、狙うポイントの正面にロッドを向けてイラストのように構えます。ルアーのたらし（穂先からルアーまでの距離）は10～15cmにしましょう。



## ③フォワードキャスト

耳の後ろまでテイクバックさせたら、素早く戻します。軽く手首を返すイメージでキャストするとロッドの弾力性を活かすことができます。

リールが上を向くように



## ②テイクバック

ルアーや仕掛けが絡まないように、肘だけを垂直に曲げ、ゆっくり振り上げます。

## ④リリース（糸を放す）タイミング

投げようとする方向の斜め45度を指差すようにして糸を放します。

## ⑤フィード

ルアーを前方へ飛ばしている時は、このくらいの位置をキープ。

## ⑥ ルアーが着水したら、リールのベールアームを閉めましょう。



## ※回収時のルアーの巻き込み過ぎに注意!

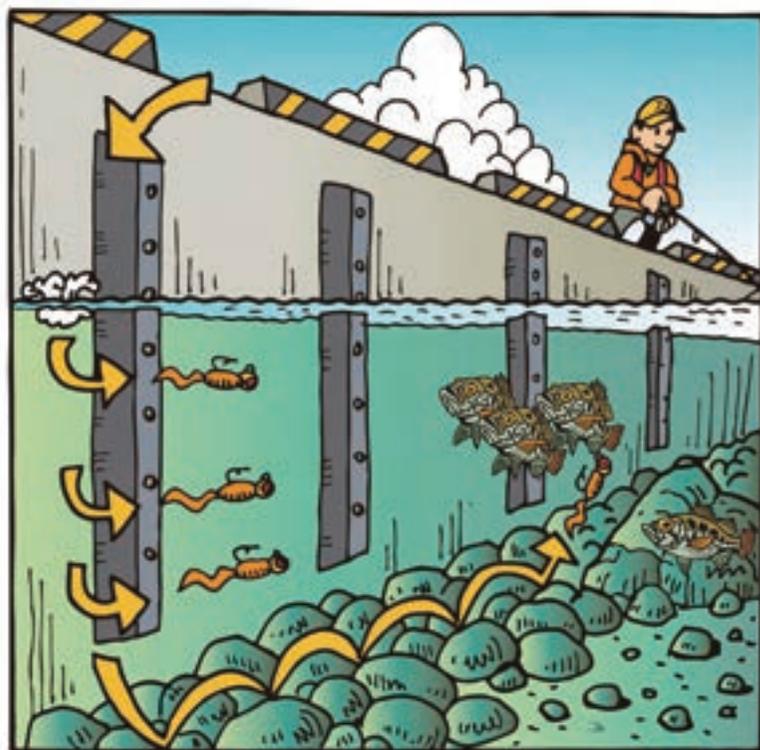


穂先を痛める一番の原因で、結果、破損。釣りが出来なくなります。ルアーが水面に見えたらリールを巻くのを止めて、距離を確認。手元にくるように回収しましょう。

※むやみにロッドを地面に置かない! 自分はもちろん、他の人に踏まれて折れることがよくあります。ロッドを置く場合は、荷物に立て掛けるなど、地面に寝かせないように置きます!!

# ★釣り方のコツ: メバル中心のロックフィッシュ編

## 魚がどのレンジにいるか カウントダウン釣法で調べる



メバル攻略の第一歩は、レンジ（タナ）の見極めにあり! その最良の方法がカウントダウン釣法です。まずルアーをキャストしたら、表層からカウントを開始。ルアーが沈んでいく速度を数え、その秒数で深さを区切り、表層から順番に探りましょう。メバルは一定の層で群れています。つまり、水面と平行にルアーを引くことがアタリ取りのコツとなります。

## メバル以外のロックフィッシュは…

ボトムに棲息するロックフィッシュたちは、落ちてきたものを、とりあえず口に入れようとします。よって、エサを底付近でフワフワと漂わせるなどの演出をすることが重要となります。基本動作として、ルアーをキャストしたら、底まで落とします。その後はロッドの穂先をチョンチョンと動かしながらリールを巻いて、ルアーを跳ね上げながら誘うボトムパンピングで探ってみましょう。

## ★ポイントはココ

港内はメバル・ワンダーランド! とにかくストラクチャー（障害物）周りが大好きで、堤防の切れ目や沈み根、排水口や係留船の下などが狙い目です。また、潮通しが良い堤防の先端や海底が掘れてカケアリ（斜面）を形成している船道などもポイントと呼べます。ちなみに、外海側では海草帯やゴロタの際に棲息しています。

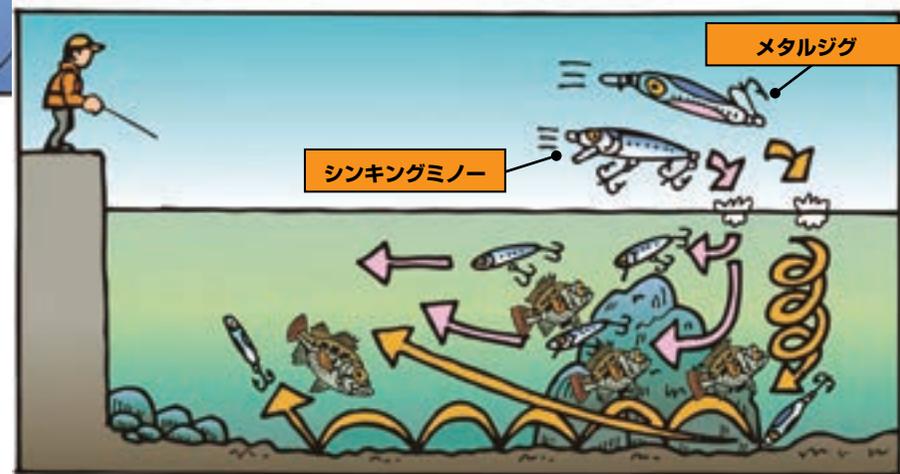


## ストラクチャーの奥が際にキャストして探り出す!

基本的にルアーを追わせて食わせるのが、メバル釣りの楽しさです。できるだけ長く引いた方が有利となるので、ポイントの奥、または際ギリギリにキャストしましょう。

## 遠投可能なルアーで 沖も攻めてみよう

港内のポイントは誰もが攻めやすいメリットがありますが、同時に魚がスレてしまいます。そんなのために、手付かすの沖の根などを攻めることができる以下のルアーも用意しておきましょう。



## ●シンキングミノー

引くとボディをくねらせながら泳ぐように動きます。引く速度を変えて、弱った魚を演出したり、トリッキーな動きで誘いましょう。

## ●メタルジグ

キャスト後フリーフォールで落とすと、キラキラ光りながら回転して魚を誘います。また一気に巻いてリアクションバイト（反射食い）を誘うことができます。

## 向こうアワセでフッキング!

好奇心旺盛なメバルは、ルアーを見つくと最初はツンツンと噛んできます。これをヒット! と間違えてアワセを入れると、スッポ抜けるので要注意。確実にゲットするなら「向こうアワセ」です。魚の重みがロッドに乗るまでリトリブ。魚が反転して、完全にロッドが引き込まれたら軽く起こしてアワセを入れましょう。



## ※かたづけ上手は、釣り上手! 返却日前日までに、しっかりお手入れを!!

レンタル釣具は、返却日まではお手入れをし、元通りに梱包しておきましょう。また釣具にキズを付けたり、壊してしまった場合は、その箇所をメモに残して箱の中に入れておきましょう。

## ロッドをたたむ場合は…



バッド部の継ぎ目から順に外して行きます。ジョイント部がキツク締まっている場合は、継ぎ目の部分を持ち、雑巾を絞るようにネジリながら引くとうまく抜けます。くれくれも先端を持って外さないこと。穂先が折れます!